

ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型) (愛称:ファイブインカム)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

(作成対象期間 2023年7月6日～2024年1月5日)

第190期(決算日 2023年 8月7日) 第193期(決算日 2023年11月6日)
第191期(決算日 2023年 9月5日) 第194期(決算日 2023年12月5日)
第192期(決算日 2023年10月5日) 第195期(決算日 2024年 1月5日)

当作成期末

基準価額	10,612円
純資産総額	2,466百万円
騰落率	3.7%
分配金合計	1,060円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、日本を除く先進国の高格付高金利債券、現地通貨建て新興国ソブリン債券、海外の好配当利回り株式、日本の好配当利回り株式および海外の不動産投資信託証券に分散投資を図ることでのリスクの低減につとめ、安定したインカムゲイン(配当等収益)の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

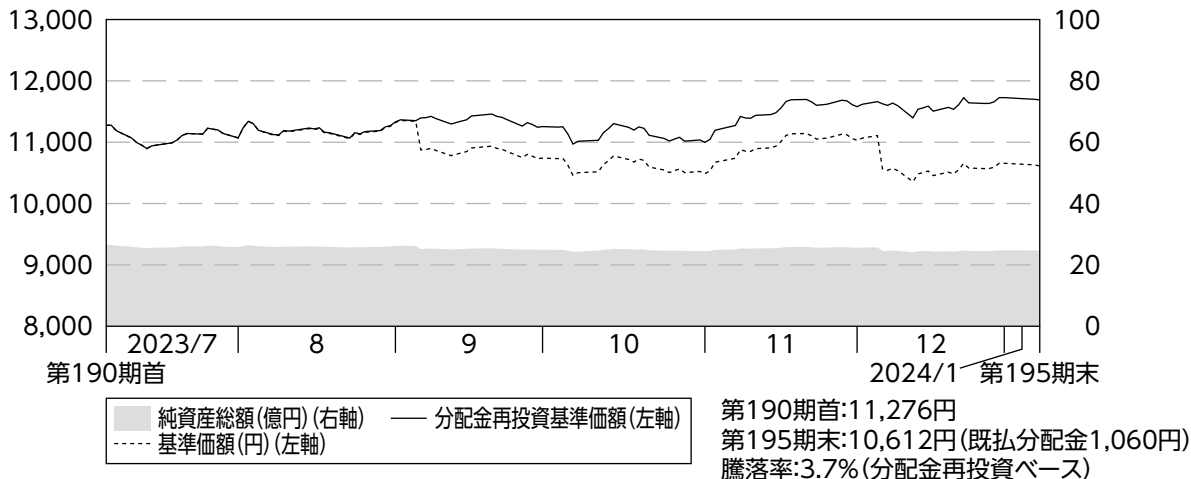
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2023年7月5日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。米国などで政策金利の引き上げが見送られ、金利引き上げ局面が終了したとの見方が強まったことを受けて、株式、債券、リート市場が上昇したことがプラスに寄与したほか、投資通貨に対して円安が進行したこともプラスに寄与しました。

組入ファンド	投資資産	基本組入比率	当作成対象期間末組入比率	騰落率
FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	先進国債券	30.0%	28.9%	3.6%
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	新興国債券(現地通貨建て)	20.0%	20.3%	1.5%
FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	先進国株式	20.0%	19.6%	3.5%
FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	国内株式	20.0%	19.0%	7.9%
グローバルREITインデックス マザーファンド	海外リート※	10.0%	10.4%	5.8%

※リートとは、不動産投資信託証券のことをいいます。本報告書では、同様の記載をすることがあります。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2023年7月6日~2024年1月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.459%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,884円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(11)	(0.105)	
(販売会社)	(36)	(0.332)	
(受託会社)	(2)	(0.022)	
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	0	0.005	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	50	0.465	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

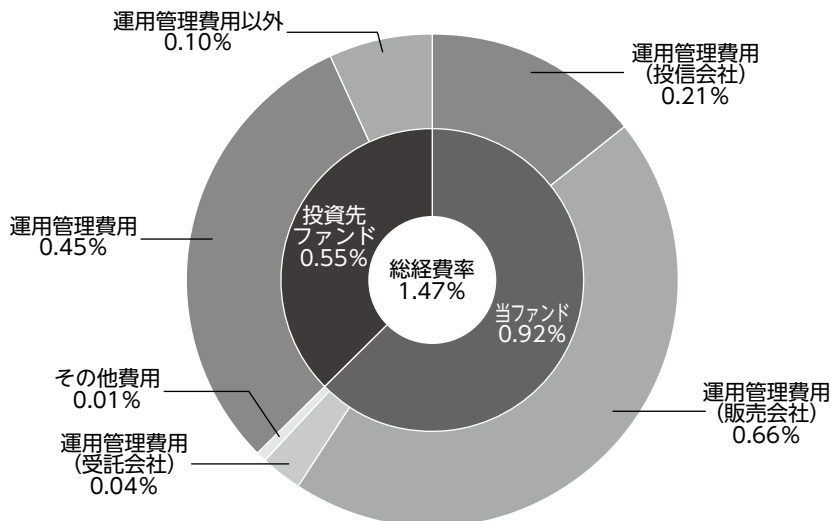
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

運用経過の説明

<参考情報>

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.47%です。



総経費率(①+②+③)	1.47%
①当ファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

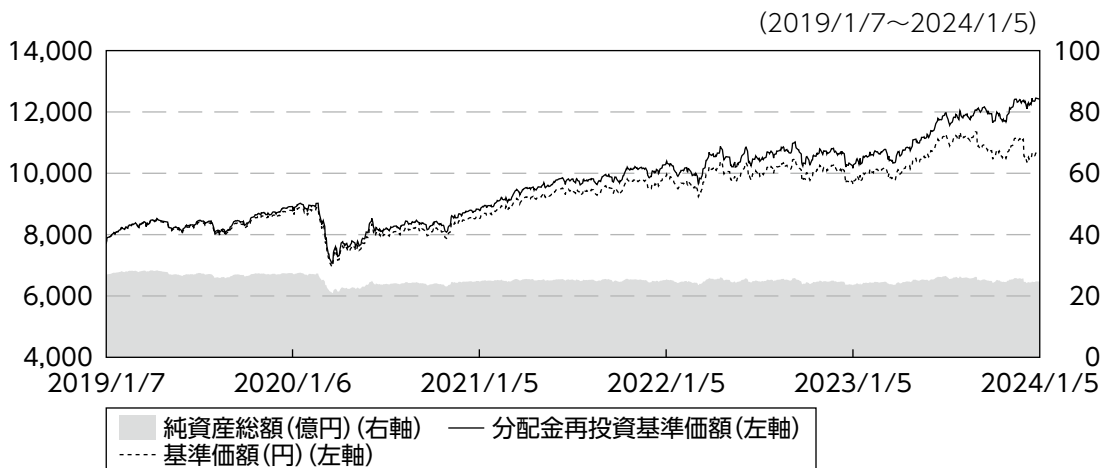
(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

(注8)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注9)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2019年1月7日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年1月7日 決算日	2020年1月6日 決算日	2021年1月5日 決算日	2022年1月5日 決算日	2023年1月5日 決算日	2024年1月5日 決算日
基準価額 (円)	7,710	8,787	8,541	9,918	9,629	10,612
期間分配金合計(税引前) (円)	—	120	120	120	120	1,120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.6	△1.3	17.6	△1.7	22.1
純資産総額 (百万円)	2,639	2,744	2,472	2,530	2,342	2,466

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

5 投資環境

○国内株式市場

当作成期の国内株式市場は上昇しました。当作成期初から10月中旬にかけては、中国の景気減速懸念が強まったことや米国の長期金利が上昇基調で推移したことが嫌気され、上値が重い相場展開となりました。10月下旬以降については、米国の長期金利が下落基調に転じたことが好感され、堅調に推移しました。

○先進国株式市場

当作成期の先進国株式市場は上昇しました。インフレ率が低下したことを背景に、12月FOMC(米連邦公開市場委員会)では3会合連続で政策金利が据え置かれました。その結果、金融引き締め局面の終了が意識されたことで市場心理が改善し、先進国株式市場は上昇しました。

○先進国債券市場

当作成期の先進国債券市場は金利が概ね低下(債券価格は上昇)しました。当作成期初から10月にかけては、米景気の底堅さを示す指標が相次いだことやインフレ圧力の継続から米政策金利の長期高止まりが懸念され金利は上昇しました。その後は、11月FOMCにおいて2会合連続で政策金利が据え置かれ、FRB(米連邦準備理事会)議長の会見を受け、追加利上げ観測が後退したことや、雇用やインフレ指標の鈍化を受けて米国の利上げ局面の終了が意識されたことから、金利は低下に転じました。

○新興国債券市場

当作成期の新興国債券市場は上昇しました。当作成期初から8月にかけて、米国でインフレ圧力の継続から米政策金利の長期高止まりが懸念された一方、多くの新興国で2023年後半にかけて経済成長が鈍化し、利上げサイクルが終了して今後利下げに向かうとの観測が高まったことなどを背景に上値の重い展開となりました。9月から10月半ばにかけては、中国における不動産市場を巡る懸念の高まりやFOMCで高水準の政策金利をより長期に維持する姿勢が示されたことなどが重石となり軟調に推移しました。10月下旬から当作成期末にかけては、米国で労働市場やインフレ率に減速の兆候が見られたことなどから、先進国で利上げサイクルが終了したとの見方が強まって長期債を中心に利回りが低下した中、新興国債券市場は上昇基調で推移しました。

○海外リート市場

当作成期の海外リート市場は上昇しました。FOMCにおいて2024年の利下げ幅見通しが縮小されたことや、各国の長期金利が水準を切り上げたことで利回り面でのリートの魅力度低下が意識されたことなどから10月にかけて下落しました。11月以降は、インフレ鈍化を背景に各国で早期の利下げ転換への期待が高まったことや、底堅い経済指標を受けて米国経済が軟着陸に向かうとの見方が強まったことなどから上昇しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

国内外の株式および海外の債券・リートへ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。各資産への配分は、概ね基本組入比率を維持する運用を行いました。

・ FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)

日本を除く世界の高格付かつ高金利の公社債に分散投資することにより、リスク低減を図りつつ安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。通貨配分につきましては、相対的に金利水準の高い米ドルや英ポンドなどの組入比率を高めに維持しました。

・ GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)

新興国の政府または政府機関の発行する債券を主要な投資対象とし、安定的かつ高水準のインカムゲインの確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

・ FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)

日本を除く世界の主要国の好配当利回り株に投資し、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。安定的な収益構造を背景に配当利回りが相対的に高い銘柄や良好な株主資本政策が見込まれる銘柄、業績見通しが相対的に良好な銘柄を中心に株価水準を勘案しポートフォリオの組成を行いました。

・ FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)

主に予想配当利回りが市場の平均よりも高い銘柄の中から、財務状況、配当方針、業績動向などを勘案しながら、安定的な好配当や今後の配当成長が期待される銘柄を中心に選定し、ポートフォリオを構築しました。

・ グローバルREITインデックス マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)と連動する投資成果を目標として、取引コストに留意しながらリバランスを実施し、REITを高位に組み入れ運用を行いました。ポートフォリオの構築に際しては、個別銘柄の構成比を極力ベンチマークに近づけることで連動を目指しました。

<投資対象ファンドについては、各運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2023年7月6日～ 2023年8月7日	2023年8月8日～ 2023年9月5日	2023年9月6日～ 2023年10月5日	2023年10月6日～ 2023年11月6日	2023年11月7日～ 2023年12月5日	2023年12月6日～ 2024年1月5日
当期分配金 (円)	10	510	10	10	510	10
(対基準価額比率) (%)	(0.090)	(4.479)	(0.096)	(0.093)	(4.605)	(0.094)
当期の収益 (円)	10	279	10	10	228	10
当期の収益以外 (円)	—	230	—	—	281	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,462	3,231	3,251	3,256	2,974	3,026

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示します。

○当ファンド

主として、下記の投資信託証券への投資を通じて、日本を除く先進国の高格付高金利債券、現地通貨建て新興国ソブリン債券、海外の好配当利回り株式、日本の好配当利回り株式および海外の不動産投資信託証券に分散投資を図ることでリスクの低減につとめ、安定したインカムゲイン(配当等収益)の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

各投資対象投資信託証券は、以下の基本組入比率で配分します。

FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	30%
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	20%
FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	20%
FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	20%
グローバルREITインデックス マザーファンド	10%

・ FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)

主として、世界高格付インカム債券 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の高格付の高金利公社債に投資し、安定したインカムゲインの確保と投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

・ GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)

主として、GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドII(適格機関投資家専用)に投資し、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

・ FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)

主として世界配当利回り株 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックスに採用されている国・地域の株式の中から予想配当利回りが当該インデックスの平均(加重平均、今期予想ベース)と比較して高いと判断される銘柄を中心に投資し、安定した配当収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

・ FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)

主として、日本好配当株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所等に上場している株式の中から、予想配当利回りが市場平均(加重平均、今期予想ベース)と比較して高いと判断される銘柄を中心に投資し、安定的な配当収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

・ グローバルREITインデックス マザーファンド

日本を除く世界各国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券ならびに取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

お知らせ

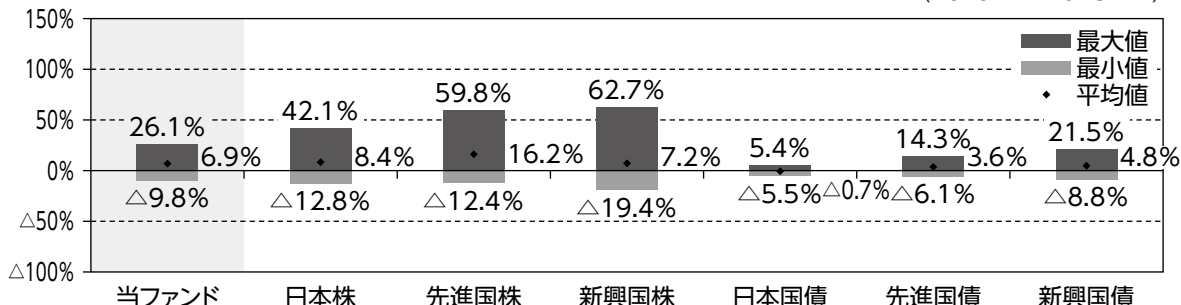
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合										
信託期間	信託期間は2007年7月20日から無期限です。										
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を除く先進国の高格付高金利債券、現地通貨建て新興国ソブリン債券、海外の好配当利回り株式、日本の好配当利回り株式および海外の不動産投資信託証券(以下「海外リート」といいます。)に分散投資を図ることでリスクの低減につとめ、安定したインカムゲイン(配当等収益)の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。										
主要投資対象	以下の投資信託証券(以下「投資対象投資信託証券」といいます。)を主要投資対象とします。 1. FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用) 2. GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用) 3. FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用) 4. FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用) 5. グローバルREITインデックス マザーファンド										
運用方法	主として、投資対象投資信託証券への投資を通じて、日本を除く先進国の高格付高金利債券、現地通貨建て新興国ソブリン債券、海外の好配当利回り株式、日本の好配当利回り株式および海外リートに分散投資を図ることでリスクの低減につとめ、安定したインカムゲイン(配当等収益)の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 各投資対象投資信託証券は、以下の基本組入比率で配分します。 <table><tr><td>FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)</td><td>30%</td></tr><tr><td>GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)</td><td>20%</td></tr><tr><td>FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)</td><td>20%</td></tr><tr><td>FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)</td><td>20%</td></tr><tr><td>グローバルREITインデックス マザーファンド</td><td>10%</td></tr></table>	FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	30%	GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	20%	FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	20%	FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	20%	グローバルREITインデックス マザーファンド	10%
FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	30%										
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	20%										
FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	20%										
FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	20%										
グローバルREITインデックス マザーファンド	10%										
分配方針	原則として、毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、毎決算時に安定した分配を行うことを目指します。 年4回(3月、6月、9月、12月)の決算時には、売買益を配当等収益に加算して分配することを目指します。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 売買益が確保できた場合でも、基準価額水準、市況動向等を勘案して、加算分配(ボーナス分配)を行わないことがあります。										

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019/1~2023/12)



(注1) 2019年1月~2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数) (配当込み)*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

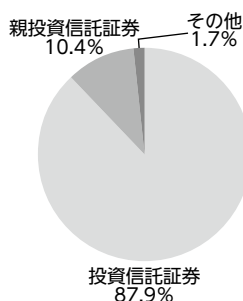
○組入ファンド

	当作成期末
	2024年1月5日
FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	28.9%
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	20.3%
FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	19.6%
FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	19.0%
グローバルREITインデックス マザーファンド	10.4%
その他	1.7%
組入ファンド数	5

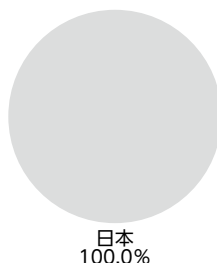
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

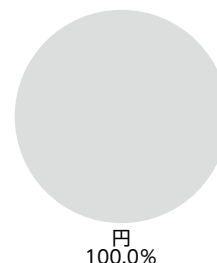
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

項目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
	2023年8月7日	2023年9月5日	2023年10月5日	2023年11月6日	2023年12月5日	2024年1月5日
純資産総額	2,585,698,099円	2,511,454,642円	2,424,663,293円	2,505,352,074円	2,447,269,134円	2,466,460,185円
受益権総口数	2,326,562,912口	2,309,191,973口	2,318,285,607口	2,333,075,922口	2,316,328,882口	2,324,162,897口
1万口当たり基準価額	11,114円	10,876円	10,459円	10,738円	10,565円	10,612円

※当作成期間(第190期～第195期)中における追加設定元本額は75,152,146円、同解約元本額は101,222,175円です。

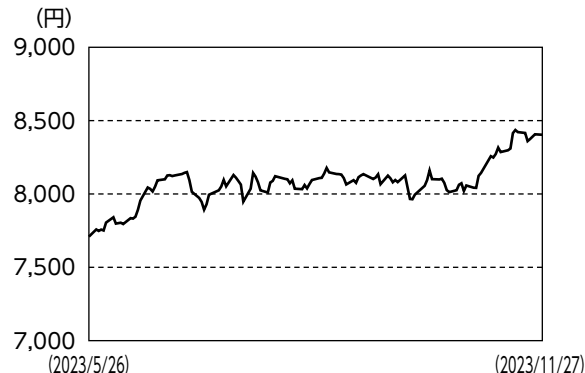
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資した
ものとして当社が別途計算したものです。

○上位10銘柄

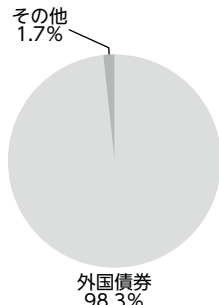
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	POLGB 2.5% 07/25/27	ポーランド	7.8%
2	EIB 4.5% 06/07/29	国際機関	7.1%
3	UKT 4.5% 12/07/42	イギリス	6.5%
4	BCOL 9.0% 08/23/24	カナダ	6.4%
5	T 2.875% 05/15/28	アメリカ	5.9%
6	T 0.875% 11/15/30	アメリカ	5.1%

○1万口当たりの費用明細

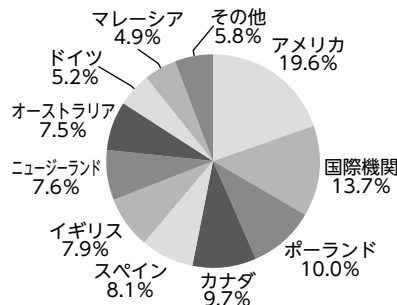
(2023年5月27日~2023年11月27日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	17円 (16) (0) (1)
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	2 (2) (0) (0)
合計	19

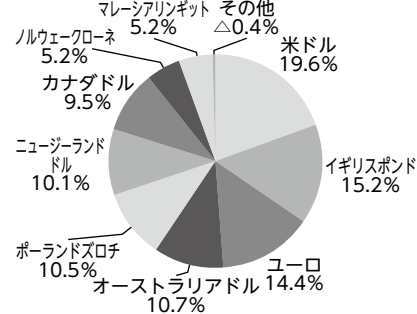
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月27日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

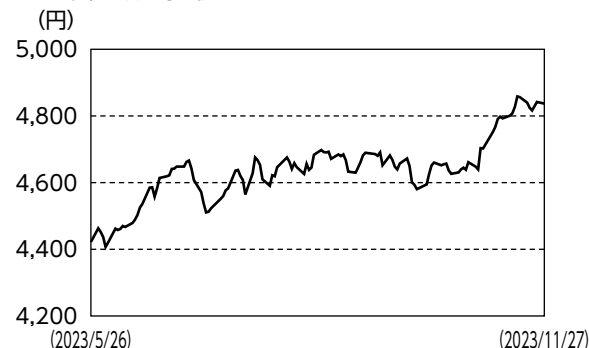
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF (適格機関投資家専用)

○基準価額の推移

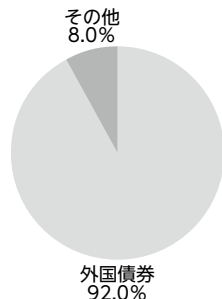


(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもものとして当社が別途計算したものです。

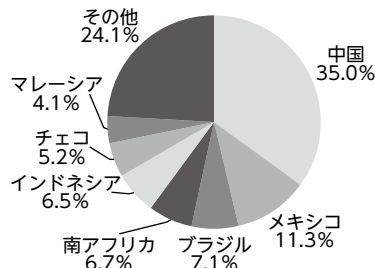
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	CHINA GOVT2.85%JUN27INBK	中国	9.0%
2	MEXICO GOVT 7.5% MAY33	メキシコ	4.8%
3	CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	中国	4.8%
4	CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	中国	4.7%
5	BRAZIL 10% JAN27 NTFN	ブラジル	4.5%
6	CHINAGOV2.76%MAY32 INBK	中国	4.1%

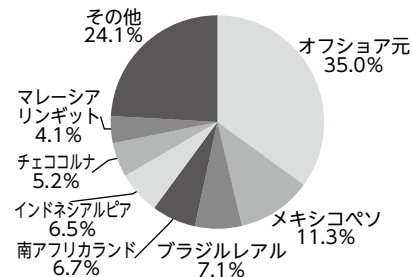
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○1万口当たりの費用明細

(2023年5月27日~2023年11月27日)

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	19円 (18) (0) (1)
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	7 (6) (0) (1)
合計	26

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	BRAZIL 10% JAN29 NTFN	ブラジル	2.6%
8	CHINA GOVT3.81%SEP50INBK	中国	2.5%
9	CHINAGOV2.64%JAN28 INBK	中国	2.5%
10	POLAND 7.5% JUL28 0728	ポーランド	2.3%
組入銘柄数			80

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月27日現在のものです。
 (注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。なお、(c) その他費用の(その他)は、信託事務の処理等に要するその他諸費用です。
 (注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。
 ※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

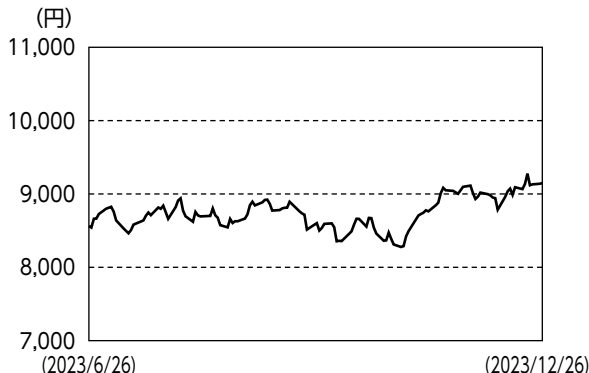
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと当社が別途計算したものです。

○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	5.7%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.3%
3	BROADCOM INC	アメリカ	3.6%
4	RIO TINTO PLC REG	イギリス	3.5%
5	ASTRAZENECA	イギリス	3.4%
6	ENBRIDGE	カナダ	3.1%

○1万口当たりの費用明細

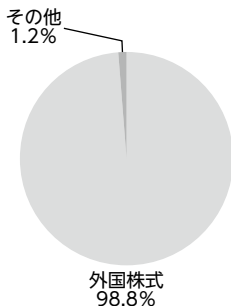
(2023年6月27日~2023年12月26日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	20円 (19) (0) (1)
(b) 売買委託手数料 (株式)	0 (0)
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (3) (0) (0)
合計	24

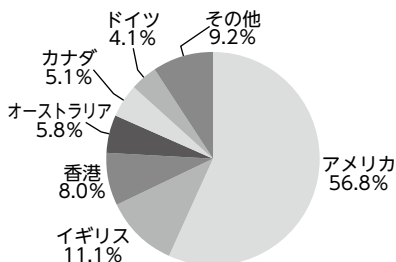
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	オーストラリア	3.0%
8	ENEL	イタリア	2.8%
9	MACQUARIE GROUP LIMITED	オーストラリア	2.7%
10	ADVANCED MICRO DEVICES	アメリカ	2.7%
組入銘柄数			45

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

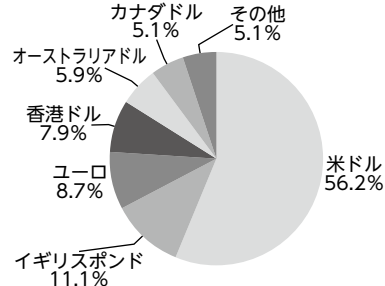
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年12月26日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

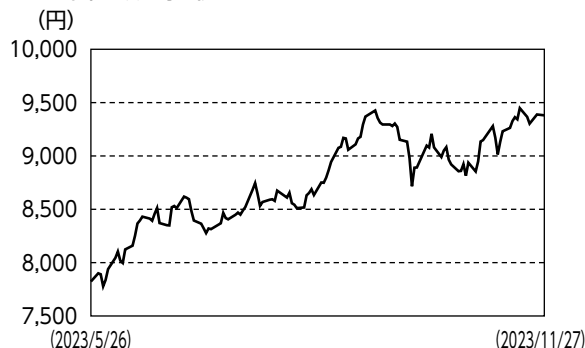
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移

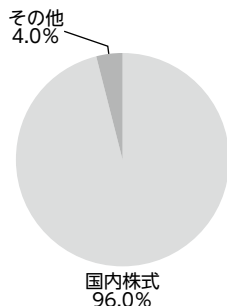


(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもものとして当社が別途計算したものです。

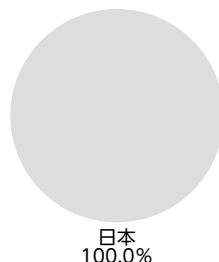
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	5.4%
2	三井住友フィナンシャルグループ	日本	4.5%
3	トヨタ自動車	日本	4.5%
4	日本電信電話	日本	3.9%
5	東京海上ホールディングス	日本	3.6%
6	日立製作所	日本	3.4%

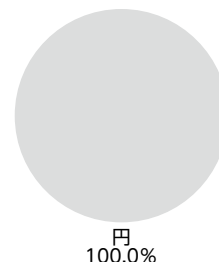
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○1万口当たりの費用明細

(2023年5月27日~2023年11月27日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	16円 (15) (0) (1)
(b) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	1 (1) (0)
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)
合計	17

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	三菱商事	日本	3.4%
8	ソフトバンク	日本	3.2%
9	三井物産	日本	3.0%
10	東京精密	日本	2.6%
組入銘柄数			63

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月27日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

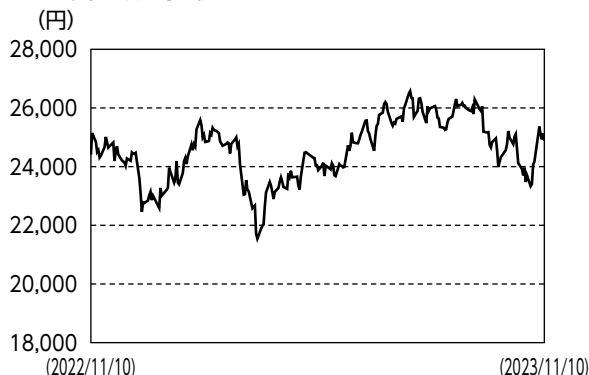
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

グローバルREITインデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ	8.2%
2	EQUINIX INC	アメリカ	6.1%
3	WELLTOWER INC	アメリカ	4.0%
4	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.3%
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.3%
6	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	3.2%

○1万口当たりの費用明細

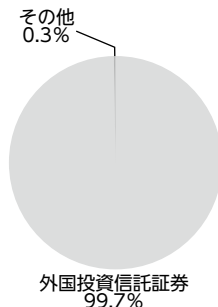
(2022年11月11日~2023年11月10日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	3 (3)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合計	13

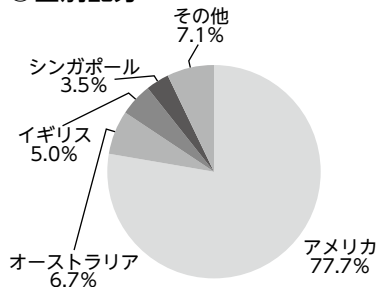
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.0%
8	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	2.4%
9	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	2.1%
10	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.1%
組入銘柄数			308

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

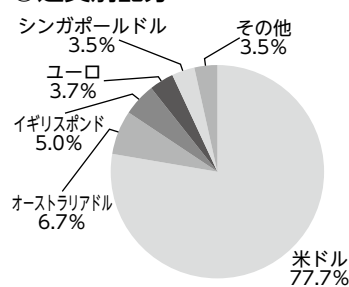
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。